



だより

「甘え」は自立の妨げになる？

保健医療課健康推進係
☎0824・73・1255

世間には「甘えさせることが自立の妨げになる」という考えがありますが、甘えは悪いことでしょうか？

「甘え」とは、物を買いやたりおやつを好きなだけ食べさせたりして子どもの物理的な欲求を満たすものではありません。抱っこやおんぶ、添い寝やお風呂、一緒に遊ぶといった日常的なふれあいを持つことです。

「抱っこ！抱っこ！」と甘えてくるときは、抱っこしてあげてください。できないときは、今はできないと伝え、用事が済んだら、「さっきは、おりこうだったね」と、いっぱい抱っこしてあげてください。今、我慢をすれば、後で受け入れてもらえるということが分かれば、子どもは我慢をすることができます。

甘えを受け入れられることで、子どもは、安心感、信頼感を抱いていきます。また、周囲の人から大切にされることで、ありのままの自分で良いと思え、自己肯定感が生まれます。すると子どもは自信と意欲を持って前へ進んでいくことができます。自主性や自立心も育ちます。自分を信頼し、大切な存在だと思えるようになれば、周囲の人を同じように信頼し、大切にすることができるようになります。



しつけのためには「甘え」させない方がいい？

しつけとは、社会的な規範を子どもに伝えていくことです。普段から甘えを受け入れることで親と子の愛着関係が築かれていけば、子どもが親の言葉を大切なものとして受け止め、子どもの心にきちんと届くようになります。

危ないこと、してはいけないことは注意をしたり、叱ったりしますが、注意をするのは行為であり、その子自身の人格は受け入れてあげましょう。そうすることで「あなたはどんなことがあっても大切な子どもだよ」と伝えることができます。

子どもの甘えを受け入れられるように、できるだけゆったりとした気持ちで子どもと向き合うようにしましょう。自分なりの気分転換を見つけたら、育児相談や子育て支援センターなどの場もご利用ください。

参考文献：『子どもと生きる・あまえ子育てのすすめ』著／澤田 敬

子育て通信 あそびっ子

児童福祉課
あんしん支援係
☎0824-73-0051

子育て支援センターは
あなたの子育てを
応援しています！

新年度がスタートしました。新しい環境の中で頑張っている人、新しい課題に挑戦している人などを、みんなまで応援できたら素敵ですね。

子育て支援センターでは、仲間づくり、子育てに悩む保護者の方の相談、憩いなどを目的に次のようなことを行っています。気軽に参加してみてください！

○集いと交流の広場

- ・子育て家庭の集いの場
- ・地域の方との交流の場
- ・研修の場
- ・親子でサークル活動もしています。

○子育て情報

催しの案内や子育て応援情報をお届けします。あなたの声もお聞かせください。

○子育て相談

「困った！どうしたらいいの？」
こんな時は、ひとりで悩まないで気軽に相談してください。

○出産お祝い訪問

誕生を祝福し、子育て情報の案内に伺います。気になることがあれば、遠慮なくお尋ねください。

○一時預かり

ジョイフル子育て支援センター「あいあいキッズ庄原」では、一時預かりを行っています。詳しくはジョイフル子育て支援センター（☎0824・72・8983）にお問い合わせください。

問い合わせ

基幹子育て支援センター
(児童福祉課あんしん支援係)
☎0824・73・0051

または各子育て支援センター(※)
にお問い合わせください。

※連絡先は広報しようばら2017年3月号12ページをご覧ください。

イラスト
峰田保育所園児

